

普通公差

(個々に公差指示がない長さ、幾何公差)

1.長さ、寸法公差〔JIS B0405—1991:抜粋〕

■面取り部分を除く長さ寸法に対する許容差										単位 mm
公差等級		基準寸法の区分								
記号	説明	0.5 ⁽¹⁾ 以上 3以下	3を超え 6以下	6を超え 30以下	30を超え 120以下	120を超え 400以下	400を超え 1000以下	1000を超え 2000以下	2000を超え 4000以下	
許容差										
f	精級	±0.05	±0.05	±0.1	±0.15	±0.2	±0.3	±0.5	—	
m	中級	±0.1	±0.1	±0.2	±0.3	±0.5	±0.8	±1.2	±2	
c	粗級	±0.2	±0.3	±0.5	±0.8	±1.2	±2	±3	±4	
v	極粗級	—	±0.5	±1	±1.5	±2.5	±4	±6	±8	

注(1)0.5mm未満の基準寸法に対しては、その基準寸法に続けて許容差を個々に指示する。

■面取り部分の長さ寸法(かどの丸みおよびかどの面取寸法)に対する許容差

公差等級		基準寸法の区分			単位 mm
記号	説明	0.5 ⁽¹⁾ 以上 3以下	3を超え 6以下	6を超え るもの	
許容差					
f	精級	±0.2	±0.5	±1	
m	中級				
c	粗級	±0.4	±1	±2	
v	極粗級				

注(1)0.5mm未満の基準寸法に対しては、その基準寸法に続けて許容差を個々に指示する。

公差等級		対象とする角度の短い方の辺の長さ(単位mm)の区分				
記号	説明	10以下	10を超え 50以下	50を超え 120以下	120を超え 400以下	400を超えるもの
許容差						
f	精級	±1°	±30′	±20′	±10′	±5′
m	中級					
c	粗級	±1°30′	±1°	±30′	±15′	±10′
v	極粗級	±3°	±2°	±1°	±30′	±20′

2.幾何公差〔JIS B4019—1991:抜粋〕

■真直度および平面度の普通公差							単位 mm
公差等級	呼び長さの区分						
	10以下	10を超え 30以下	30を超え 100以下	100を超え 300以下	300を超え 1000以下	1000を超え 3000以下	
	真直度公差および平面度公差						
H	0.02	0.05	0.1	0.2	0.3	0.4	
K	0.05	0.1	0.2	0.4	0.6	0.8	
L	0.1	0.2	0.4	0.8	1.2	1.6	

■真直度の普通公差					単位 mm
公差等級	短い方の辺の呼び長さの区分				
	100以下	100を超え 300以下	300を超え 1000以下	1000を超え 3000以下	
	直角度公差				
H	0.2	0.3	0.4	0.5	
K	0.4	0.6	0.8	1	
L	0.6	1	1.5	2	

■円周振れの普通公差		単位 mm
公差等級	円周振れ公差	
H	0.1	
K	0.2	
L	0.5	

■対称度の普通公差					単位 mm
公差等級	呼び長さの区分				
	100以下	100を超え 300以下	300を超え 1000以下	1000を超え 3000以下	
	対称度公差				
H	0.5				
K	0.6	0.8	1		
L	0.6	1	1.5	2	